



■トマトやキュウリ いっしょに食べようね。

この3ヶ月ほど、不安な思いをしましたが、緊急事態宣言も解除され、日常生活が戻りつつあります。油断はできないので手放して喜べませんが、希望が持てたことは、とてもうれしく思います。

「ひまわりのたね」が閉館していた5月は、保育所に行かせてもらっていました。この状況の中で子どもたちのひとつひとつの動作や会話が愛おしく、改めて子どもたちに感謝しています。

保育所で外遊びをしている時、赤ちゃんバツタがピョンピョン。捕まえて喜んでいる子のそばで、どうしても捕まえることのできない子がしばらくして、「カタツムリの殻」と手の平の物を見せてくださいました。「え！それは、カタツムリじゃなくて、バツタのたまごの殻。この中からバツタがいっぱい生まれてきたとよ。お宝ものよ。すごい！」と話すとその子の表情がバツと明るくなりました。

また、ある日の夕方、男の子が空を見上げていました。「ねー見て、白いカラスー」と指さした先には、しらさが飛んでいました。子どものつぶやきって、ほっこりしていいものです。

今、中庭のやまぼうしは、葉が茂り白い花も咲いて、メダカはスイスイとよく泳いで、静かな中にも活気を感じます。小さな畑も作りました。トマト、キュウリや芋が、グングン伸びて実をつける頃には必ずみんなと一緒に！との思いを強くしながら苗植えをしました。



やまぼうしも
みんなを待っています。

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

【開館】月～金曜日 9～16時

【場所】総合福祉センター
「ひまわりの里」内

【対象】0歳から未就学の子
もとその保護者

※利用には保護者の付き添い
が必要です

【利用料】無料